

海老名秋田県人会 会報



第20号
令和6年
4月7日
発行

会員88名
(3/31現在)

海老名
秋田県人会
046-231-0072

湯沢の人々の人情に感激

「ふるさとにはありがたきかな」

「三関の“せり”を求めて旅行脚」



海老名秋田県人会
会長 藤田 富雄

鍋っこ遠足のきりたんぼ鍋には欠かせない食材の“せり”、例年10月初旬は関東のスーパードではまだ出回っていません。中旬以降なら何とか間に合うだろうと、昨年は開催日を10月14日に設定して食材を揃えることに。

ちょうど小学校の同級会で帰省する予定があり、また送料を節約するため、「買ってついでに背負って運んできます」と安請け合いました。事前に実家の甥っ子に連絡して地元スーパーにせり20束購入予約をお願いし、注文できたと確認して明るい気分での帰省の旅につきました。

いつも通り奥羽線に乗り継ぎ約1時間、なつかしいふるさと雄勝平野の景色を車窓から眺めつつ湯沢駅に到着。ところが迎えに来た甥っ子が青ざめた顔で、「叔父さん、困ったことになってしまった！時期が早すぎてせり20束揃えるのは無理だとスーパー店長に言われた。どうにもならない」と「そんな馬鹿な！」叔父さん絶句。このままでは海老名に

帰れない。役員の皆様にごしゃがれる。

近くの八百屋、スーパー片っ端から探しましたが埒があきません。途方にくれましたが、最後の頼みの綱、実家の近くにお住いの顔の広いであろう渡部市議員様に相談に伺い事情を話し、何とかならにやべが」とお願い。「んだば、ちよつと聞いてみるべ」議員さま早速電話。そして「まだ時期が早いらしいけれども、ここさ行ってみてくれ。なんとかなるかも」と紹介されたのが「三関ゆめ蔵ぶ直売所」。直行してすぐせりを探しました。秋田おぼこが三関のせり抱えているポスターはあるものの、せりの姿は全く無し。

レジにいる秋田おぼこの姉さんに事情を話し「せりが手にひやらねば海老名さ帰れない。何とかならにやべが」とありつたけの秋田弁を駆使して泣きそうな顔(?)をして懇願したのです。お姉さん私の顔を見て気の毒に思ったのでしよう。「んだば、取引している農家に聞いてみるべ、難しいかもしれないけどね」しばらく電話をしてそのやり取りを一喜一憂しながら聞いておりました。



そして、お姉さんにつこりした顔で結論「正式の出荷は2週間後ですが、困っているようなので、よくおがったせりだけを選んで20束準備してくるって。えがったな！お客さん」これを聞いた瞬間ふるさとの方々の心温まる対応に感謝の気持ちでいっぱいとなる。



「えー、そこまでやってくれるの、どでんした！」と感嘆。農家の御主人様有難う、そして取り次いでくれた直売所のお姉さん有難う。議員様有難う。ふるさとの人々の人情に触れ感謝の涙があふれだしてきました。心温まる対応に感激するとともに「ふるさとにはありがたきかな」と実感。

帰路市議員様宅へ寄り感謝の意を伝え、2日後にせりの束を抱え海老名へ帰ってきました。残念ながら鍋っこ遠足は悪天候が予想され中止になりましたが、担当役員に三関のブランドせりだよ」と宣伝し、試食をお願いしたところ「うみやがった、シャキシャキして、根っこまで食べられて。せり鍋でもおいしかったよ。来年もぜひ三関のせりお願いします」と次回の分まで注文を受けてしまいました。

今年の鍋っこ遠足は三関のせりをどっさり取り寄せ、会員の皆様に味わってもらおうと決心したせり騒動でした。

秋田県人会の活動

① 「新入会員募集活動」

前年度は11月19日の「市民まつり」で新入会員を募集しました。最近ではコロナ禍でもあったせいか会員数が減少傾向でしたが、今回は3人の方が入会されました。



② 「なべっこ遠足」きりたんぼ会また中止に

コロナ禍で開催できずにいた「なべっこ遠足」が10月14日、4年ぶりに海老名運動公園の野外炉で計画されました。ところが、なんと不運！数日前になって開催日の天気予報は雨。本ページのトップ記事にあるように会長が折角せりの買い出しをして、くれていましたが、やむなく中止となりました。今年度こそはお天気に恵まれて開催できまますようにと祈るばかりです。

